

みなと 港④ 港や海辺に親しまおう！

港は、国内・海外からの貨物船やクルーズ船が行き来し、船や水辺などがありなす多彩な風景が私たちを楽しませてくれます。海辺の公園や砂浜など海に親しめる施設もあり、お祭りやスポーツ大会なども開催され、港には多くの人々が集まっています。みなさんも近くの港に出かけてみましょう。

制作協力 21世紀みなとづくり推進実行委員会 / 国土交通省港湾局

人々にぎわう 港へ行こう！

港には旅客船ターミナルや臨海公園など人々が集う施設があります。

クルーズ船を見に行こう！



クルーズ船の歓迎式典



大阪港天保山には、クルーズ船が着く旅客船ターミナルの背後に、大型水族館「海遊館」や直径約100mの大観覧車、美術館もあり、人々にぎわっています。

港では、海外からのクルーズ客を招く式典も行われています。(横浜港大根橋)

みなとまつりに行こう！



海辺の公園へ遊びに行こう！



沖縄県の石垣港みなとまつりでは、クルージングやヨットセーリング体験などのイベントやコンサートなどがおこなわれ、露店も出され大変にぎわいました。

静岡県の清水港日の出地区には、博物館や商業施設、レストラン、スポーツ施設など多くのレジャー施設を備えた海辺の公園が整備されています。

さまざまな体験ができる 港や海辺へ行こう！

港では、自然学校や、スポーツ大会などのイベントが開催されています。もちろん釣りもできます。

海辺の自然を体験しよう



海辺ではさまざまな生き物を観察でき、自然の大切さを学ぶための教室も開かれています。写真はスノーケリングの指導教室。(千葉県 館山市)

ビーチスポーツを楽しもう



ビーチバレーやビーチサッカーなどの海に親むためのイベントが全国各地の海辺で実施されています。(東京港 お台場)

海釣りに出かけよう！



港には安全に海釣りができる親水エリアもあり、休日にもなると大勢の釣り人でにぎわいます。(福島県 小名浜港) 写真提供=(社)時事画報社

誰もが楽しめる 工夫がされている港や海辺

港では、釣り人や体が不自由な方々のためへの工夫や、歴史や文化、周囲の景色への配慮など、様々な取り組みが行われています。

歴史・文化などを後世に伝える工夫



港では、歴史的な建物や施設を保護し、観光施設などとして活用しています。写真は昭和初期まで税関の施設として利用された倉庫を修復し商業施設などとして活用している赤レンガ倉庫です。(横浜港 赤レンガパーク)

体の不自由な方への配慮



車椅子に乗ったまま砂浜へ下りることができるよう Slope を設けています。(三重県津松阪港) 写真提供=(社)時事画報社

きれいな景色を作り出す工夫



清水港では、港の景色を周囲の景色と調和させるための「みなと色彩計画」が進められています。ガントリークレーンは通常、朱色と白で塗られますが、ここでは白や水色で塗られています。

港では、美しい風景や歴史的な建物を保全するための様々な取り組みが行われています。また、港では体の不自由な方も海に親しめるように、さまざまな工夫がされています。

